

林業経済学会 2011 年春季大会のご案内

2011 年春季大会運営委員会

このたびの東日本大震災により多くの人命が失われましたことに深い哀悼の意を表しますとともに、現在も多くの困難に直面されている被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。救済・復興にご尽力されている方々に敬意を表し、皆様のご回復と一日も早い復興を切に願っております。

3月28日に静岡大学で開催を予定しておりました林業経済学会2011年春季大会は、諸事情を鑑み、延期とし、5月21日(土)に開催すべく準備を進めております。ここに改めて2011年春季大会のご案内を申し上げますとともに、それまでに現在の非常事態が改善され、大勢の皆様が心置きなく参加できるようになることを強く願っております。

1 日程・会場等

【日時】2011年5月21日(土) 9時~18時

8:30 開場・受付

9:00 開会

9:10 研究報告

12:00 コメント

12:10 (休憩)

13:30 質疑応答, 総合討論

17:00 定期総会

18:00 閉会

※ 時間配分には多少の変更も予想されますことを予めご了承下さい。

【会場】東京大学農学部1号館第8番講義室

【大会参加費】 社会人1,000円, 学生500円

【懇親会】 定期大会の後に東京大学農学部食堂を会場に開催する予定です。

2 シンポジウムの概要 (シンポジウム論文など詳しくは『林業経済研究』57(1)をご参照下さい。)

【統一テーマ】 林業経済研究は森林セクターにどう貢献するか—気鋭の研究者はこう考える—

【テーマ設定の趣旨】

林業経済研究の蓄積を今一度振り返りながら、林業経済研究が森林、林業、林産業、山村の持続可能性の具現や発展に如何に貢献するかを学会として議論する。このシンポジウムにおける議論が林業経済研究の深化、そして林業経済学の発展に繋がることを切に期待する。

【座長】永田 信 (東京大学)

【報告とコメント】

報告1 島本美保子 (法政大学) マクロ分析なき林業経済学からの脱却に向けて

—木材貿易と森林資源, 日本経済の中での林業への資源配分—

報告2 三木敦朗 (信州大学) 林業における資本と土地所有の現段階

報告3 坂野上なお (京都大学) 木材生産・流通に影響を与える需要側の変化を追って

—林業経済研究は木材需要の行方をどのように捉えるか—

報告4 庄子 康 (北海道大学) 自然地域におけるレクリエーション研究の展開と今後の展望

報告5 栗栖祐子 (林業経済研究所) 日本のグリーン・ツーリズム研究の動向と今後の方向性

—農村, 観光, 林業経済の研究レビューから—

コメント 山本伸幸 (森林総合研究所関西支所)

※なお、事態の経過によっては大会を中止する場合も考えられます。その場合には、「林業経済学会ニュースレター」や当学会ホームページ、林業経済研究所ホームページなどで速やかにお知らせ致します。これらの情報につきまして、留意いただければ幸いです。